



2025年4月30日

各 位

(経過開示) Meme Factory プロジェクト、BaaS 支援第 2 弾「CANON Attack」  
ミームトークンシステムの開発を受託

当社は、2025年4月21日付「[\(経過開示\) Meme Factory プロダクト完成にお知らせ](#)」にて、当社が推進する BaaS (Blockchain as a Service) 戦略の一環として、Meme Factory プロダクト完成の旨をお知らせしておりました。

このたび、BaaS 戦略の第二弾プロジェクトとして、Pulfo Management Limited Company が発行するミームトークンシステム「CANON Attack」の開発業務を受託し、プロジェクト支援を正式に開始したことをお知らせいたします。



## 1. ミームトークンシステム「CANON Attack」について

「CANON Attack」は、空売り残高が高まる銘柄に照準を合わせ、買い圧力を誘発することを目的としたユニークなミームトークンです。

AIによって空売り比率の高い銘柄群を分析・抽出し、DAOによるガバナンス投票によって“狙い撃ち銘柄”を決定。その情報を機関投資家やコミュニティへ共有することで、買い行動の誘発を目指す「投資家コミュニケーション型ジョークトークン」です。

## 2. 「CANON Attack」の主な特徴について

### ■トークン発行枚数：777,777,777枚（Burn対応）

カジノスロットを模した象徴的発行枚数で、トークン保有者は全員ガバナンスに参加することが可能です。

### ■AIによる空売り銘柄の自動検出

空売り比率の高い銘柄をAIが定期スキャン。照準候補リストをDAOに提示。

### ■ガバナンス投票による「攻撃対象」の選定

ホルダーによるトークン投票で狙い撃ち銘柄を決定。

### ■照準銘柄の情報を機関投資家に提供

市場心理に基づくユーモアと実効性を融合し、投資行動への波及を図る。

### ■調達資金は価格形成に影響を与えない範囲で売却・流動化

調達資金は、DAOコミュニティや機関投資家への支援・寄付に活用され、市場全体の買い支えを目的とする。

**※ミームトークンシステム「CANON Attack」の概要は補足資料もご参照ください。**

## 3. 今後の見通し

本プロダクトは、2025年2月19日付「[「長期ビジョン・中期経営計画」に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり、中期経営計画における「BaaS（Blockchain as a Service）」戦略の一環として位置付けられ、複数のプロジェクトへの横展開も想定しております。

今後、DAO向けのカスタマイズ案件を含め、当社BaaS型支援体制の拡張を図ってまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響などは軽微となる見込みです。

# Support the future with Financial Services.



■GFA 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

当社については、『最先端フィンテックで未来の金融を支える』をテーマにメタバースや金融事業を中心に、あらゆる顧客の資金需要を即時解決するとともに、SDGs を重視しながら、世界に存在意義のある事業の創造にコミットメントする会社を目指しています。

多分野に広がる当社のグループ企業のネットワークから、金融事業にフォーカスしたノウハウを集め、個人・法人問わず顧客ニーズに柔軟性ある確かな答えを提供していきます。

《本件に関するお問い合わせ先》

GFA 株式会社 広報部

[info@gfa.works](mailto:info@gfa.works)

以上



# CANON ATTACK

ショートスクイーズ・ガバナンス・プロジェクト

空売り残高が最も高い銘柄を狙い撃ちし、  
トークンエコシステムの中で市場に新たな買い圧力を生み出す



AI分析



DAO投票



777,777,777枚



バーナブル

# ◎ プロジェクト概要

## CANON Attackとは？

空売り残高が最も高い銘柄を**狙い撃ち**し、トークンエコシステムで調達した資金を活用して、市場に**買い圧力**を生み出すことを目的としたミームトークンプロジェクト。

## 主な特徴

### 🎯 狙い撃ちメカニズム

AIによる自動分析で空売り比率の高い銘柄を特定し、DAO投票で照準を合わせる

### 🗳️ コミュニティガバナンス

トークンホルダーがターゲット銘柄の選定に参加できるDAO構造

### 💰 買圧創出システム

調達した資金を機関投資家や有志コミュニティに情報提供・寄付

## 1 AI分析システム

市場データをAIが自動分析し、空売り比率の高い銘柄をリストアップ



## 2 DAO投票プロセス

コミュニティがCANON Attackの照準を合わせる銘柄を投票で決定



## 3 資金調達と運用

トークン調達資金を元手に機関投資家への情報提供と買い圧力の創出



## 4 市場インパクト

ターゲット銘柄への買い圧力により、空売り投資家へのカウンターアクション



# トークン仕様とガバナンスシステム

## CANON トークン仕様

発行総量:



📌 カジノのスロットをイメージした発行数量



### バーナブル機能

市場状況に応じてバーン実施



### トークン保有要件

保有数に比例した投票力



### ガバナンス専用

DAO投票権に特化



### 流動性管理

持続可能な資金調達

## ガバナンスシステム (DAO)

トークンホルダーはDAO投票で**CANON Attack**の照準を合わせる銘柄を決定します。

1

### AI分析プロセス

空売り残高の高い銘柄を自動的にリストアップ

2

### DAO投票の実施

トークン保有量に応じた投票でターゲット銘柄を決定

3

### 照準確定と実行

機関投資家への情報提供と買い圧力創出



# エコシステムの特徴と戦略



## 🔑 エコシステムの特徴

CANONは空売り残高の高い銘柄への買い圧力を創出し、市場バランスを回復させるメカニズムです。

-  **循環型エコノミー**  
継続的な資金調達と買い圧力の維持
-  **コミュニティ主導**  
市場介入の方向性を決定する分散型ガバナンス
-  **AI駆動分析**  
最適な空売りターゲット銘柄の自動選定
-  **ホルダー保護**  
過度な空売りから投資家を守る防衛機能
-  **機関投資家連携**  
情報提供と資金支援のネットワーク構築

## 📊 資金活用の割合



# ◎ まとめと将来展望

## 市場へのインパクト



### 市場バランスの改善

過度な空売りポジションへのカウンターバランスを形成



### 投資家保護の促進

過剰空売りによる価格操作からの保護メカニズム



### 透明性の向上

空売り状況の可視化による市場参加者への情報提供

## 社会的意義

- ✔ 公正な市場環境の**促進**
- ✔ 投資家コミュニティの**エンパワーメント**
- ✔ 金融教育と**投資リテラシー**の向上
- ✔ ブロックチェーン技術の**実用的活用**の実証



## CANON Attack でショートスクイーズの新時代へ

空売り銘柄を狙い撃ちし、市場の公正さを取り戻すコミュニティに参加しませんか？

コミュニティに参加する

## 今後の展開計画

PHASE 1

PHASE 2

PHASE 3

PHASE 4



### プラットフォーム拡張

複数取引所との連携



### AI分析の高度化

精度の高いアルゴリズム



### 機関投資家連携

パートナーシップ構築



### グローバル展開

国際市場での拡大